



Hiroshima Shudo University

法学部法律学科

総合型選抜（ゼミナール方式）の概要説明



Hiroshima Shudo University

【参照サイトのご案内】

入試情報サイトに掲載される下記情報もあわせて参照して下さい。

- 総合型選抜・学校推薦型選抜（公募・専願）の課題・テーマ一覧
- 2026年度法学部法律学科入学試験の概要説明
- 2026年度法学部法律学科入試Q&A
- ゼミナール報告要旨（例）

1. 事前準備

(1) 参考文献

6月の入試説明会で「**総合型選抜の課題**」を発表する際、その課題に関係する**参考文献**などもあわせて提示されます。

(2) ゼミナール報告要旨の準備

提示された参考文献だけでなく、その他の文献やインターネットサイトなどを通じて学習し、本学所定のA4用紙1枚の「**ゼミナール報告要旨**」に自己の見解をまとめましょう（「手書き」でも「パソコン作成」でも可）。

2. 試験の内容

＊試験方式：**ゼミナール方式**／試験時間：**約90分間**

(1) ゼミナールの構成

- ・本学教員：司会進行役など
- ・受験生：1グループにつき**5～10名程度**

(2) 参照できるもの

- ・試験当日に配布される**ゼミナール報告要旨のコピー**
- ・参考文献などの本、見解説明の原稿を書くなどしたノート、インターネットからプリントアウトした資料、辞書などの**紙媒体資料**

＊**注意**：パソコン、スマートフォン、電子辞書などの電子機器は**持込み禁止**。スマートフォンや腕時計型端末などを時計としても**使用不可**。

3. ゼミナールの進行順序

(1) 見解説明〔40～45分程度〕

- 受験生は、司会が指名した順に、1人5分間ずつ、提出した「ゼミナール報告要旨」に基づいて**自己の見解を説明します**。課題について事前に学習・検討してきたことを話したり、自分の意見を述べたりします。前の順番の受験生の見解説明と重複があっても構いません。

＊評価のポイント（詳しくは4.を参照）

報告要旨を使いながら**自分の考えを適切にまとめて報告する能力**が評価されます。

- 他の受験生が見解説明をしている間は、その見解説明をよく聞き、必要に応じてメモを取りましょう。「集団討論」の際にそのメモをもとに質問することになります。

5

3. ゼミナールの進行順序

(2) 休憩〔5分程度〕

(3) 集団討論〔40～45分程度〕

受験生の間での意見交換／質疑応答

- 他の受験生の「見解説明」に対する質問
- 他の受験生（場合によっては司会の教員）からの質問に対する応答

＊評価のポイント（詳しくは4.を参照）

積極的な発言、教員の質問や他の受験生の意見に対する**的確な応答**、**発言の論理性**などを基準に評価します。

6

4. 評価のポイント

(1) ゼミナール報告要旨

見解説明やその後の集団討論のために、**わかりやすくまとめられているか。**

(2) 見解説明

- ゼミナール報告要旨に基づいて、**自分の見解を適切にまとめて報告しているか。**
- 聞き手に**配慮しながらわかりやすく丁寧に説明しているか。**

7

4. 評価のポイント

(3) 集団討論

- 討論に**積極的に参加しているか**（司会からの質問に対して積極的に挙手して応答しているか。他の受験生に積極的に質問しているか）。
- 発言が**論理的か**（発言の内容に矛盾がなく、一貫しているか）。
- 発言が**的確か**（司会や他の受験生からの質問に的確に応答しているか、他の受験生の見解を理解して的確な質問をしているか。）

(4) その他

課題について十分に学習し、趣旨や問題点などを理解しているか。

など

8